第4編

手術料

公益財団法人　労災保険情報センター

©2026 RIC All Rights Reserved

四肢加算

テキスト150・151頁

1.5倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む

2.0倍

手及び手の指
(手関節含む)



創傷処理
皮膚切開術
デブリードマン
筋骨格系・四肢・体幹の手術
神経の手術
血管の手術

ポイント①
形成の手術は対象外！

手の指に係る
- 創傷処理(達しないもの)
- 骨折非観血的整復術

労災独自の点数で算定のため対象外！

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

手背に真皮縫合を伴う
K000 創傷処理(達しないもの)4㎝と
デブリードマンを行った場合



真皮縫合とデブリードマンを行った場合、四肢加算は？

手技料の注加算・・・四肢加算可

創傷処理４　真皮縫合加算　デブリードマン加算　四肢加算

(530点 ＋ 460点 ＋ 100点) × 2.0

＝ 2,180点

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト152頁・153頁

四肢加算

ポイント

四肢加算の対象ではないもの

通則の加算

通則１２（時間外等の加算）は四肢加算の対象！

医療機器等加算

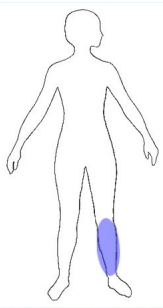
特定保険医療材料料

薬剤料・輸血料・麻酔料

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

例題

左脛骨の粉砕骨折に K046 骨折観血的手術と創外固定を行った場合（時間外）



労 災

骨折観血的手術５

18,370点 × 時間外加算 1.4 × 四肢加算 1.5 ＝ 38,577点

創外固定器加算 10,000点

48,577点

通則１２(時間の加算) 四肢加算 可

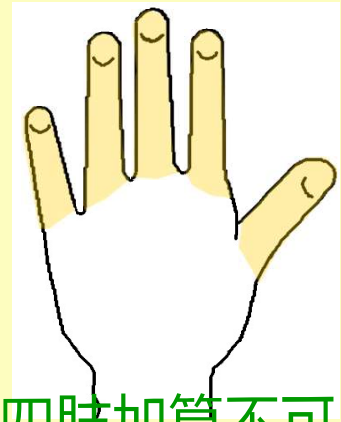
医療機器等加算(創外固定器加算) 四肢加算 不可

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト164頁

手の指に係る創傷処理

筋肉・臓器に達しないもの



四肢加算不可！

労災独自の点数	
指１本	１,０６０点
指２本	１,５９０点
指３本	２,１２０点
指４本	２,６５０点
指５本	２,６５０点

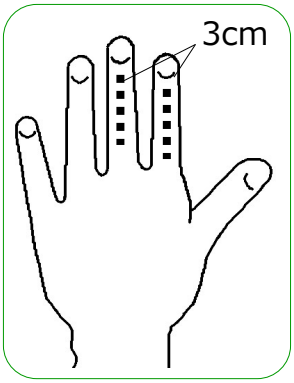
©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

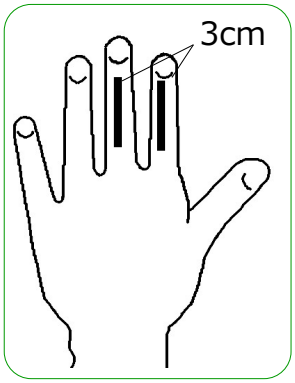
テキスト165頁

第２指、第３指の挫創に対し、次のように創傷処理とデブリードマンを行った場合

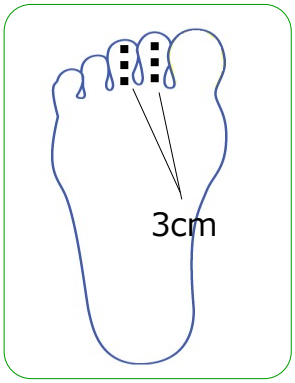
①手の指
達しないもの



②手の指
達するもの



③足の指
達しないもの



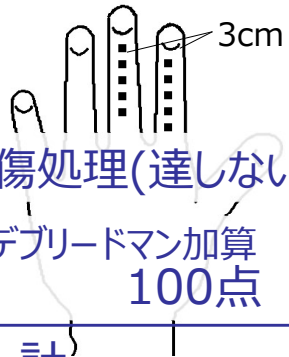
©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

テキスト165頁

① 手の第２指、第３指の挫創に対し創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの)３㎝、デブリードマンを各々行った場合

① 達しないもの ➡ 労災独自の点数



創傷処理(達しないもの)指２本				1,590点
デブリードマン加算		四肢加算		
100点	×	2.0	＝	200点
合　計				1,790点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

テキスト165頁

② 手の第２指、第３指の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達するもの)３㎝、
デブリードマンを各々行った場合

② 達するもの ➡ 健保点数の２．０倍（四肢加算）



創傷処理２ ＋ デブリードマン加算 ）× 四肢加算

（ 1,880点 ＋ 100点 ）× 2.0

＝ 3,960点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

テキスト165頁

③ 足の第２趾、第３趾の挫創に対し
創傷処理(筋肉・臓器に達しないもの)３㎝、
デブリードマンを各々行った場合

③ 足の指
（達しないもの） ➡ 健保点数の１．５倍（四肢加算）



創傷処理5 ＋ デブリードマン加算 ）× 四肢加算

（ 950点 ＋ 100点 ）× 1.5

＝ 1,575点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

テキスト165頁

第２指、第３指の挫創に対し、次のように創傷処理とデブリードマンを行った場合

①手の指
達しないもの



労災独自の点数
（指２本）

②手の指
達するもの



（四肢加算）
健保点数の 2.0 倍

③足の指
達しないもの

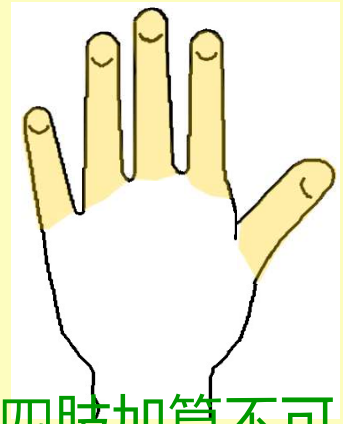


（四肢加算）
健保点数の 1.5 倍

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト166頁

手の指に係る骨折非観血的整復術



四肢加算不可！

労災独自の点数	
指１本	２,８８０点
指２本	４,３２０点
指３本	５,７６０点
指４本	７,２００点
指５本	７,２００点

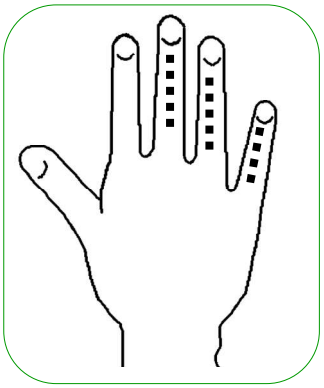
©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３・４

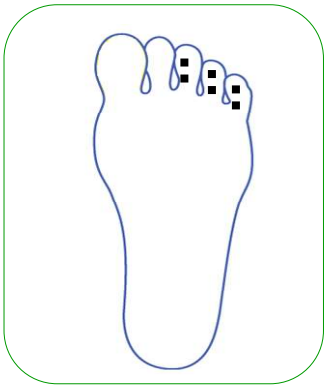
テキスト166頁

第３指(趾)、第４指(趾)、第５指(趾)の骨折に K044 骨折非観血的整復術を行った場合

算定例３ 手の指



算定例４ 足の指



©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３

テキスト166頁

手の第３指、第４指、第５指の骨折に対し K044 骨折非観血的整復術を行った場合



手の指

➡ **労災独自の点数**

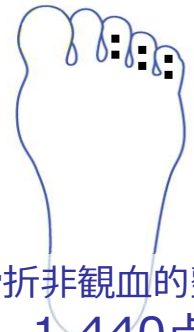
骨折非観血的整復術（指３本） **5,760点**

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例４

テキスト166頁

足の第３趾、第４趾、第５趾の骨折に対しK044 骨折非観血的整復術を行った場合



足の指

（四肢加算）

➡ **健保点数の１.５倍**

骨折非観血的整復術９　四肢加算

1,440点　×　1.5　＝　2,160点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３・４

テキスト166頁

第３指(趾)、第４指(趾)、第５指(趾)の骨折にK044 骨折非観血的整復術を行った場合

算定例３　手の指



労災独自の点数（指３本）

算定例４　足の指



（四肢加算）

健保点数の　１.５倍

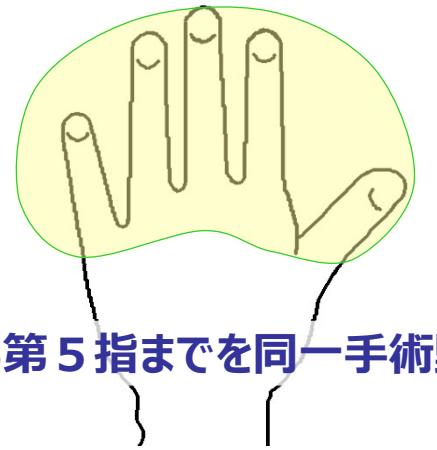
©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト167頁

創傷処理（達しないもの）　骨折非観血的整復術

手の指に係る同一手術野の範囲

健保



第１指から第５指までを同一手術野とする手術

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト167頁

創傷処理（達しないもの）　骨折非観血的整復術

手の指に係る同一手術野の範囲

労災



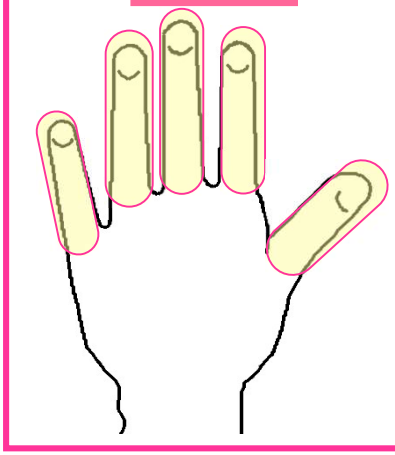
第１指から第５指（中手部・中手骨を含まない）
までを別の手術野とする手術として取り扱う

©2026 RIC All Rights Reserved

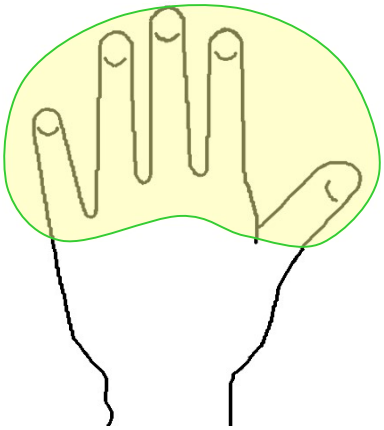
テキスト167頁

創傷処理（達しないもの）　骨折非観血的整復術
手の指に係る同一手術野の範囲

労災



健保



©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト172頁

算定例７　左手指に次の手術を行った場合
第１指　K044 骨折非観血的整復術
第２指　K000 創傷処理(達しないもの) 3 ㎝

労災



通則14 (4)-ア

骨折非観血的整復術 (指1本)	2,880点
創傷処理(達しないもの) (指1本)	1,060点
合　計	**3,940点**

健保



通則14 (4)-イ

	1,440点
	~~530点~~
合 計	1,440点

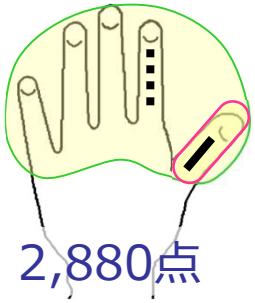
©2026 RIC All Rights Reserved

例題

左手指に次の手術を行った場合
第１指　K044 骨折非観血的整復術
第２指　K000 創傷処理(達するもの) ３cm

労災

通則14(４)-エ



骨折非観血的整復術(指１本)　2,880点

~~創傷処理1(達するもの)~~　四肢加算

~~1,400点　×　2.0　＝　2,800点~~

合　計　2,880点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例８

テキスト173頁

左足指に次の手術を行った場合
第１趾　K044 骨折非観血的整復術
第２趾　K000 創傷処理(達しないもの) ３cm

労災



通則14 (4)-イ

骨折非観血的整復術　四肢加算

1,440点　×　1.5　＝2,160点

創傷処理(達しない)　四肢加算

~~530点　×　1.5　＝　795点~~

合　計　**2,160点**

健保



通則14 (4)-イ

1,440点

~~530点~~

合計 1,440点

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト189･190頁

手指の機能回復指導加算

手関節以下



１９０点（１回限り）

- 創傷処理
- 皮膚切開術
- デブリードマン
- 筋骨格系･四肢･体幹の手術

ポイント1

時間外等の加算
四肢加算
・・・算定不可

- 神経の手術
- 血管の手術
- 形成の手術

・・・対象外！

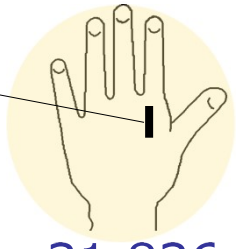
RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３

テキスト190頁

時間外に次の手術･指導を行った場合

左手 第２中手骨
- K046 骨折観血的手術
- 初期治療における機能回復指導



骨折観血的手術10	時間外加算2	四肢加算	
11,370点 ×	1.4 ×	2.0 =	31,836点
機能回復指導加算			190点
合　計			32,026点

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト194頁

術中透視装置使用加算

２２０点

	対象部位	対象手術
ア	大腿骨、下腿骨、 上腕骨、前腕骨、 手根骨、中手骨、 手の種子骨、指骨、 足根骨、膝蓋骨、 足趾骨、中足骨、鎖骨	骨折観血的手術 骨折経皮的鋼線刺入固定術 骨折非観血的整復術 関節脱臼非観血的整復術 関節内骨折観血的手術
イ	脊椎	経皮的椎体形成術 脊椎固定術、椎弓切除術、 椎弓形成術

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト194頁

術中透視装置使用加算

２２０点

	対象部位	対象手術
ウ	骨盤	骨盤骨折非観血的整復術 腸骨翼骨折観血的手術 寛骨臼骨折観血的手術 骨盤骨折観血的手術 (腸骨翼骨折観血的手術及び 寛骨臼骨折観血的手術を除く)

ポイント1　**四肢加算　算定不可**

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト195頁

術中透視装置使用加算

２２０点

ポイント①　四肢加算　算定不可

ポイント②

① 手根骨、中手骨、手の種子骨及び指骨（以下「手」という）又は 足根骨、足趾骨及び中足骨（以下「足」という）について、複数の手術を同時に行い、術中透視装置を使用した場合、併せて1回の算定

② 右手、左手 又は 右足、左足にそれぞれ手術を行い、術中透視装置をそれぞれの手 又は足に使用した場合、それぞれ1回まで算定

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト195頁

算定例２　次の手術を行った場合

左第２指基節骨
左第４指末節骨
右第３指中手骨
］ K046 骨折観血的手術（術中透視装置使用）

左第2指 左第4指 ］	骨折観血的手術11　四肢加算 11,370点 × 2.0 × 2	= 45,480点
右第3指	骨折観血的手術10 11,370点 × 2.0	= 22,740点
術中透視装置使用加算	220点	× 2 = 440点
合　計		**68,660点**

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

第5編

その他の特例

公益財団法人　労災保険情報センター

©2026 RIC All Rights Reserved

◆処置及び手術に関する特例

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト198～201頁

初診時ブラッシング料

９１点

同一傷病につき１回(初診時)

ポイント

① 四肢加算　算定不可

② 時間外加算　算定可

③ デブリードマン
(デブリードマン加算含む)
重複算定不可

初診時ブラッシング料を含む処置、手術の点数の合計が
150点以上の場合に限る！

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト205頁

固定用伸縮性包帯

実費相当額 (購入価格を10円で除して得た点数)

医師の診察に基づき、処置及び手術において、頭部・頸部・躯幹・四肢に使用を必要と認めた場合

ポイント

①患部の固定のために使用した場合

②医師が必要と判断した場合
頸椎固定用シーネ等と併せて算定可

湿布・ガーゼ等がずれないように巻いた場合は 算定不可！

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト206頁

頸椎固定用シーネ、鎖骨固定帯
膝・足関節の創部固定帯

実費相当額 (購入価格を10円で除して得た点数)

医師の診察に基づき、使用が必要と認められる場合に算定可

ポイント

① 頸椎固定用シーネの費用と「腰部、胸部又は頸部固定帯加算」は 重複算定不可

② 医師が必要と判断した場合
固定用伸縮性包帯と併せて 算定可

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト206頁

頸椎固定用シーネ、鎖骨固定帯
膝・足関節の創部固定帯

実費相当額 (購入価格を10円で除して得た点数)

健保点数表の
腰部、胸部又は頸部固定帯加算(170点) が
算定できる場合

◇ 実費相当額 ＞170点 ⇒ 実費相当額を算定

◇ 実費相当額 ＜ 170点 ⇒ 170点を算定

**頸椎固定用シーネ、鎖骨固定帯、
膝・足関節の創部固定帯も、同様の取扱い**

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト207頁

皮膚瘻等に係る滅菌ガーゼ

実費相当額 (購入価格を10円で除して得た点数)

通院療養中の傷病労働者に対し、皮膚瘻等に係る自宅療養用の滅菌ガーゼ（絆創膏を含む）を支給した場合

対象者 ①及び②を満たす者

① せき髄損傷等による重度の障害者のうち
- ・尿路変更等による皮膚瘻を形成しているもの
- ・尿路へカテーテルを留置しているもの
- ・これらに類する創部を有するもの

② 頻繁にガーゼ交換を必要とするため、医師が投与の必要を認めたもの

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト207頁

皮膚瘻等に係る滅菌ガーゼ

実費相当額 (購入価格を10円で除して得た点数)

ポイント

診療担当医から直接処方・投与を受けたものに限る。

診療担当医の指示によるものであっても市販のガーゼを傷病労働者が自ら購入するものは対象外！

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト208頁

期間延長　労災電子化加算

５点（内訳書１件につき）

対 象

電子情報処理組織の使用 又は
光ディスク等を用いた診療費請求を
行った場合

（令和10年３月診療分まで）

©2026 RIC All Rights Reserved

第6編

労災診療費の請求手続き

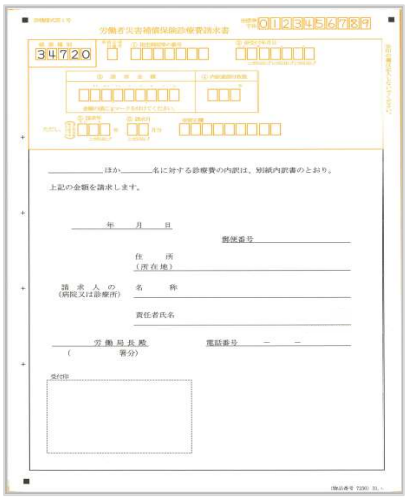
公益財団法人　労災保険情報センター

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト211頁

帳票の種類

請　求　書



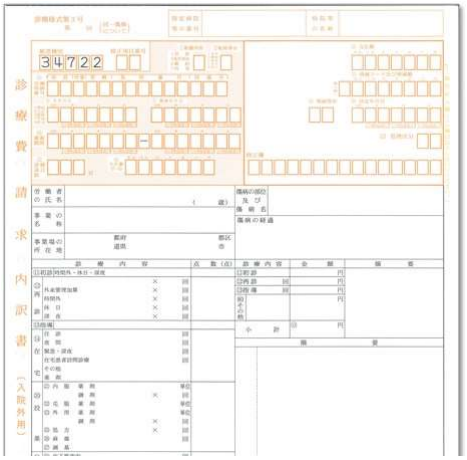
- 労働者災害補償保険
  診療費請求書
  ・・・診機様式第1号
- 検査に要した費用等
  請求書(指定医療機関用)
  ・・・診機様式第1号の２

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト211頁

帳票の種類

内訳書（レセプト）



［短 期 給 付］

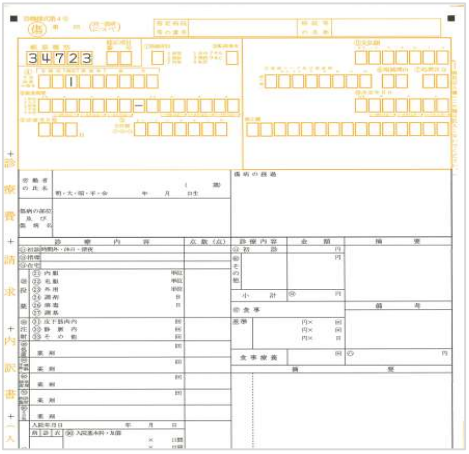
- 診療費請求内訳書
  （入院用）
  ・・・診機様式第２号
- 診療費請求内訳書
  （入院外用）
  ・・・診機様式第３号

RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト211頁

帳票の種類

内訳書（レセプト）



［傷病(補償)等年金］

- **㊧ 診療費請求内訳書（入院用）**
  - **・・・診機様式第４号**
- **㊧ 診療費請求内訳書（入院外用）**
  - **・・・診機様式第５号**

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト211頁

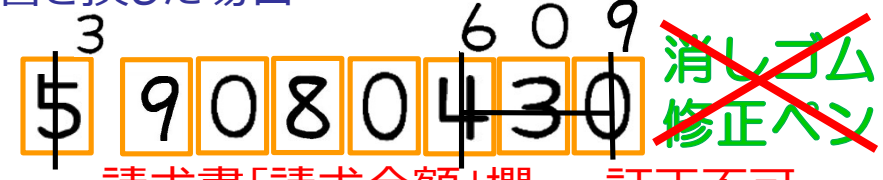
記 載 要 領

注 意 事 項

- 黒のボールペンを使用
- 標準字体で枠の中に大きめに記入

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- 書き損じた場合



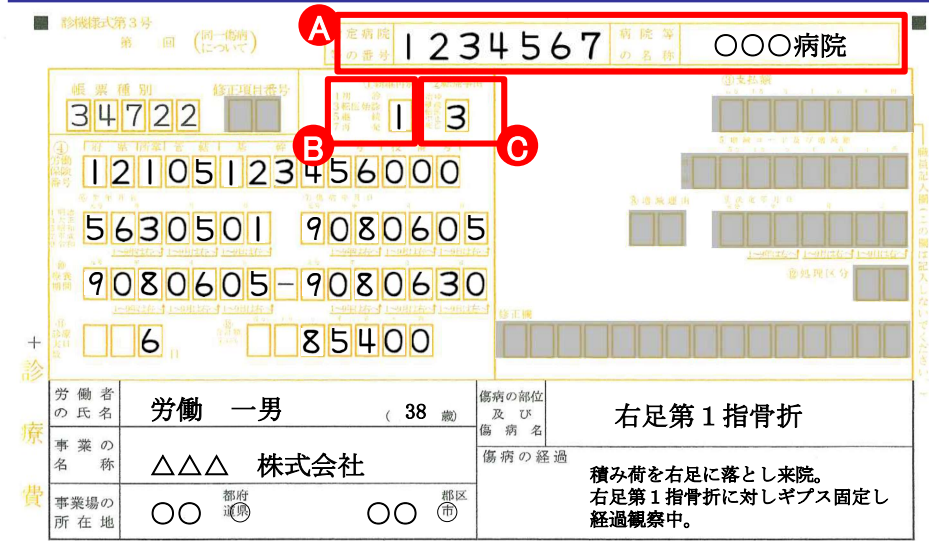
請求書「請求金額」欄・・・訂正不可

©2026 RIC All Rights Reserved

記 入 要 領

テキスト212頁

診療費請求内訳書（レセプト）

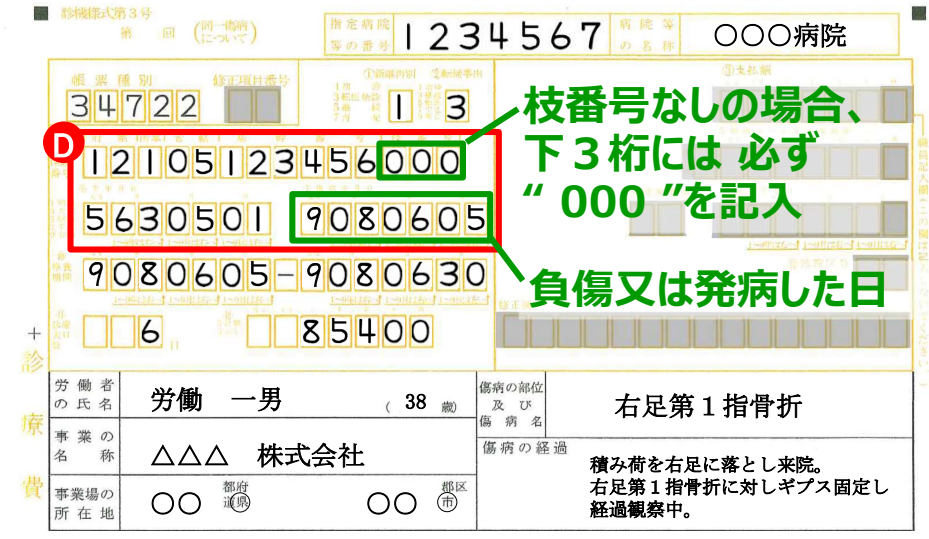


©2026 RIC All Rights Reserved

記 入 要 領

テキスト212頁

診療費請求内訳書（レセプト）

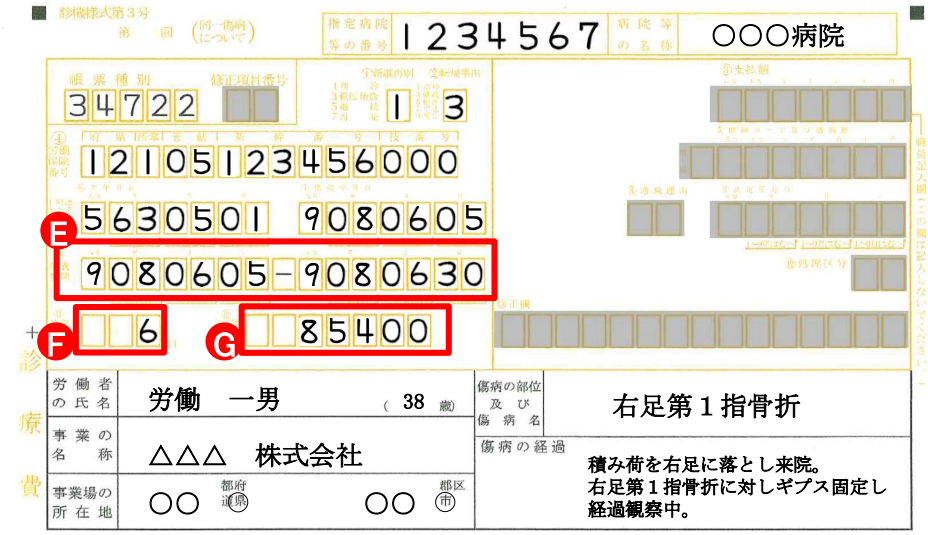


©2026 RIC All Rights Reserved

記 入 要 領

テキスト212・213頁

診療費請求内訳書（レセプト）

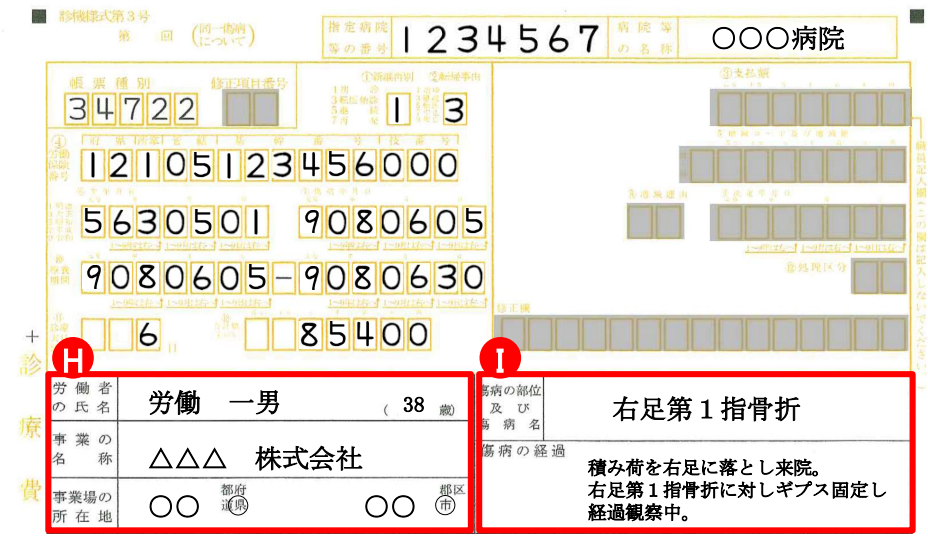


RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

記 入 要 領

テキスト212・213頁

診療費請求内訳書（レセプト）

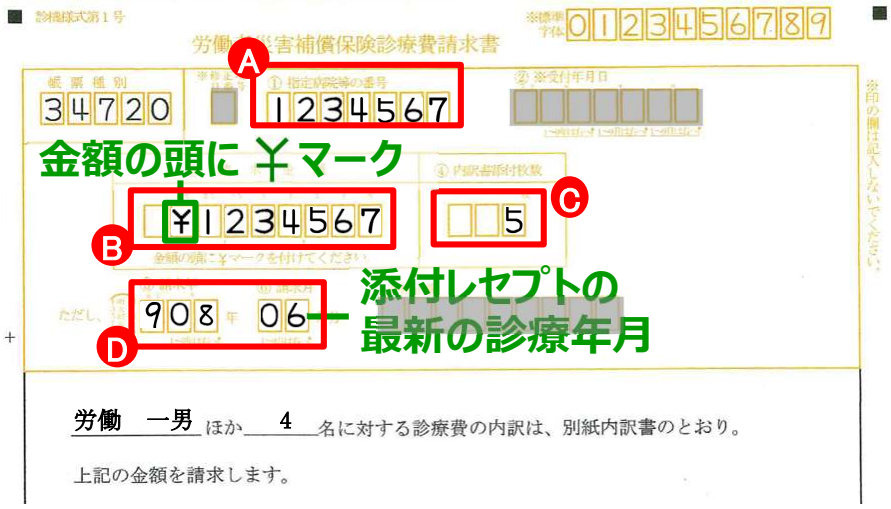


RIC ©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト214・215頁

記 入 要 領

労働者災害補償保険診療費請求書



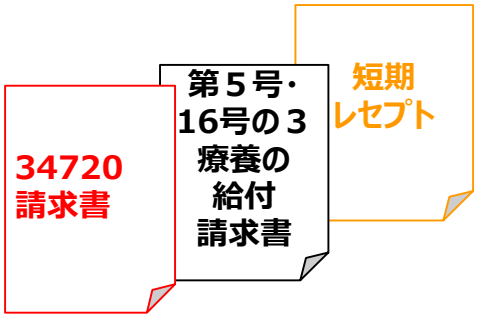
©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト216頁

請求書・レセプトの編綴順序

初回分

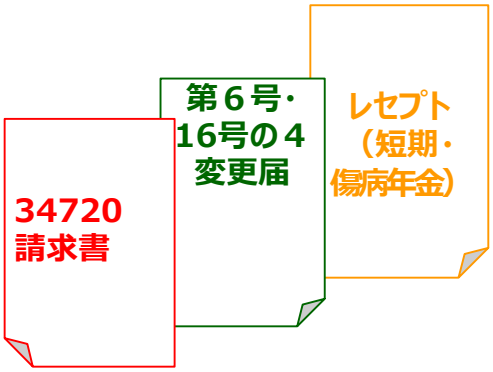
5号請求書があるため、労働者所属の事業場を管轄する監督署ごとに分ける



©2026 RIC All Rights Reserved

請求書・レセプトの編綴順序

継続分



©2026 RIC All Rights Reserved

副作用により発症した傷病の治療

治療に関連した副作用による傷病も労災保険給付の対象です。

©2026 RIC All Rights Reserved